

第3回大宮グランドセントラルステーション推進会議
まちづくり推進部会 主なご意見等

開催日時：平成29年7月27日（木）16:30～18:30

開催場所：大宮区役所 6階大会議室

出席者

選出区分	役職等
学識経験者	東京大学 大学院工学系研究科 窪田 亜矢 教授
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口駅前南地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 会長
地元まちづくり団体	大宮駅東口西地区まちづくり推進協議会 副会長
地元まちづくり団体	大宮東口駅前街づくり会 事務局長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 理事長
地元まちづくり団体	大宮駅東口北地区市街地再開発準備組合 専務理事
関係行政機関	さいたま市 都心整備部長
関係行政機関	さいたま市 大宮区 副区長
デザイン コーディネーター	アーバンデザインセンター大宮 副センター長（代理）
オブザーバー	都市再生機構（東日本都市再生本部 事業企画部） 事業企画第2課長

■駅前空間（交通広場、交流空間）について

- ・4地区が全て同時期に開発をすることはありえない。提示された4つの案の中において、実現性や事業展開、スケジュール等を加味して案を絞り込んで欲しい。
- ・合意形成ができないと前へ進まない。合意形成がされた順番から進めるのが確実である。
- ・デッキレベルでの駅からの動線について整理してほしい。デッキのボリューム、広さ、人の動線、再開発ビルへの接続がわかるような絵を描いてほしい。
- ・大宮は多くの人が集まる場所であることから、みんなが使いやすいようにしなければならない。交通広場や交流空間については多くの方々の意見を聞いて決めていく必要がある。それが決まった後は各地区で検討していくことになる。
- ・駅ビルが高層化することで、まちに人が流れないようなものはつくりたくない。みんなが、「良いまちになった」と感じられるようにしたい。
- ・交流広場上空にデッキを張ることは可能か。全て人工地盤にする発想でも良いと思っている。
- ・デベロッパーへのヒアリングによって今までに出ていない用途が出て、外的要因が入ることで一気に合意形成ができる可能性もある。デベロッパーのヒアリング結果を部会に反映させて欲しい。

まとめ

窪田部会長

- ・駅前のつくり方において、大きく二つの意見があった。一つは、周辺のまちとのつながりを重視して駅ビルとは違うやり方で空間をつくる方法、もう一つは、駅とのつながりを重視してデッキを延長するなどの形で開発する方法であった。
- ・関連して、人の賑わいを、地上レベルとするのか、デッキレベルなのか、で空間の作り方は大きく違う。その点を今後しっかりと議論していく必要がある。